

## 学齡児保育の授業より

京都保育福祉専門学院保育科の1回生の授業に「学齡児保育」という科目があります。

「保育」＝乳幼児とイメージされる方も少なくはありませんが、保護者の就労その他の事情により、昼間留守になる家庭の低学年児童を放課後より安全に保護し育成する保育サービス（学童保育）について学びを深めます。

保育科の最初の実習では、大半の学生が学童保育の実施施設である児童館に行きます。選択科目でありながら、この授業は事前学習のよい機会になります。実際実習を終えて、児童館に就職する学生も増えてきています。

さて、この授業の取組みの一環として、京都市内の現職の先生をお招きし、京都市独自の学童保育サービスや各児童館の現状、職員の職務についてお話をさせて頂いています。今年度は、昨年度に引き続き新道児童館館長の八木先生、そして新たに西陣児童館主任の中山先生、小西先生にお越し頂きました。上記の学びの他に、現場で実践されている「あそび」を通して、学生達はより児童館について理解が深められたこと、大変感謝いたします。楽しい授業風景を写真に収めましたので、ご紹介いたします。



ペープサートを用いて児童館の機能についてお話をされる新道児童館の八木先生。  
学生達も興味深々でした。



後部の右から2番目の方が中山先生。西陣児童館の統合育成についてお話頂き、鈴を用いてミュージックケアを一緒にさせて頂きました♪



講義の後に、児童館で実践されている「あそび」をたくさん紹介して頂きました。  
風呂敷ハルーンに大歓声！  
うわあ～きれ～い！！



西陣児童館の小西先生です。  
障がいのある中高生のタイムケア事業「ういず」の取り組みについてお話頂きました。「最後に救われるのは、子ども達の笑顔です！」と言われたことが大変心に響きました。



【学生達の声】（学生一人ひとりの声をあつめました。ほんの一部でごめんなさい・・・。）

○八木先生へ・・・児童館には乳児からお年寄りまで様々な方が利用されることを知りました。先生のお話が楽しかった！

○中山先生、小西先生へ・・・障がいのある子もない子も、共に笑いけんかもして成長していくことがわかりました！

最後に・・・ご多忙にもかかわらず、快く学院に起こし頂いた八木先生、中山先生、小西先生本当にありがとうございました。先生方の子ども達に対する熱い想いを引継ぎ、現場と学生達の架け橋になれるよう、私も日々努力し続けます。

（保育科：野村 智子）